

現在の子どもの様子

ねらい

行事

自己評価

・新しい保育士に少しずつ慣れていき、笑顔で登園したり、家庭での話をしたりし親しみが出てきている。
自分の気持ちを伝えられるようになり、気の合う友達と遊びを楽しんでいる。
・新しい環境や園生活のリズムにも慣れ、時計の周りに貼ってあるシールや数字を見ながら次の活動へと意識するようになる。
当番活動を積極的に喜んで行っている。朝の会で歌う唄を気に入り、散歩時に楽しそうに歌っている。春の草花や虫など自然への興味や関心が高く、戸外へ行くと触ったり、探したりしている。友だちが良いことをすると拍手をして褒めていたり、泣いている友だちに優しく声をかけている姿など見られる。

○簡単な見通しを持って生活する
○野菜の苗や生き物の世話をしながら、生長に興味・関心を持つ
○散歩や戸外遊びを楽しみ保育者や友だちと関わりながら、のびのびと遊ぶ

- ・11・25日英語であそぼう
- ・18日おはなし会
- ・19日クラス懇談会
- ・21日身体測定
- ・23日幼児集会

地域との関わり

- ・散歩先で挨拶をしっかりと交わり、交流を持つ。

・苗や種を買いに行ったり、かえるを川に帰したり、長い距離の散歩に行ったりと園庭遊びだけではなく色々な経験をした活動できた。一人一人が1日の流れに慣れ、好きな遊びを楽しめていることでクラスが落ち着いてきていた。生き物や草花に興味を持ち、園庭や公園などたくさん遊ぶ機会を作ることができ、充実して過ごすことができた。

内容

環境構成

保育士の配慮

取り組みの状況と保育士の振り返り

養護生・情(健・人・環・言・表)

・個々の健康状態を把握しながら、健康に過ごす。
・一人ひとりの思いを受け止め、安定して過ごせるようにする。
・簡単な見通しを持って生活をし、気温や活動内容に合わせた衣服の調節や水分補給をする。
・保育者や友だちと好きな遊びを楽しむ。
・玩具を丁寧に扱えるように声をかけ時間を取りながら一人一人が片付けられるようにする。
・散歩や戸外あそびを通して、身近な自然に興味を持ち、植物や虫に触れる。
・野菜の苗の世話をし、生長に関心を持つ。(茄子・トマト・ほうれん草・枝豆・赤じそ・ピーマン・西瓜)
・日常に必要な挨拶が分かり、挨拶を交わす気持ち良さを感じる。
・リズム遊びで動物等になり、全身を使って表現する事を楽しむ。

・天候や気温、個々の体調を考慮しながら活動をする。
・職員間で情報交換をしっかりと行い、人的環境を整える。
・ゆったりとした雰囲気作りを心掛け、安心して思いを伝えられるようにする。
・朝の集まりで一日の予定を伝え、絵カード等を使用する。
・衣服の十分な用意を保護者をお願いする。
・子ども達の発達や成長に合わせた玩具を準備する。玩具を扱いやすいように整理し、配置等環境を整える。
・草花の様子や生息場所等を把握する。
・野菜の本、生長が分かる写真を用意し、興味を持たせるようにする。
・園内や散歩先など、挨拶を沢山交わす機会を作る。
・十分に身体を動かせるスペースを確保する。

・朝の受け入れ時に挨拶を交わすと共に様子を聞き、対応していく。
・担任以外の保育者にも十分な情報を伝え理解する事で、子ども達が安心して園生活を送れるようにする。
・子ども一人ひとりの会話に耳を傾け丁寧に応えていく事で、積極的に会話等のやりとりを楽しめるようにする。
・活動内容や場面に合った行動を伝え、自分自身で考え見通しが持つ基盤を作っていく。
・活動の合間に適宜、水分補給や休息を取るよう声を掛ける。
・興味のある遊びが十分に出来る時間を設けると共に、保育者や友だちと関わりながら遊びが展開出来るように環境を整える。
・保育者も一緒に遊びながら、子ども達に使い方や遊び方の話を、分かりやすく伝える。競争やゲームをしながら積極的に片付けられるようにする。
・歩く速度に配慮したり、自然に触れられる場所では、時間に余裕を持ったりして、ゆっくり観察出来るようにする。
・野菜や生き物の観察が十分に出来るようにし、水やり・餌当番を順番に行う事で全員が関わり興味を持てるようにする。
・保育者が挨拶の手本となり、挨拶の気持ち良さや言葉のやりとりの楽しさに気付けるようにする。
・保育者も一緒に身体を動かし、やり方や楽しさを伝える。

・天候により気温の差があったので、戸外遊びの際は上着を着るように声をかけたり、額を触り一人一人体調を気に気を配ったことで大きく体調を崩すことはなかった。
・休み明けの不安定な気持ちや甘えたい気持ちを受け止めながら、保育者や友だちと連休中の楽しかったことを話したり、一緒に遊ぶ楽しさや心地良さを感じたりすることができた。
・玩具を片付ける際に、「20こ片付けよう」と競争をいながら楽しく片付けることができた。
・ホームセンターへと散歩を兼ねて苗や種を買いに行き、「おおきくなってね」と苦いを込めて植え、水をまくのを楽しんでいる。
・朝の会、帰りの会での挨拶や散歩の途中に積極的に保育者が声をかけていくことで自然と子どもたちからも挨拶していた。
・室内遊び時に動きを一つ一つ丁寧に確認しながら前進を使って表現することができた。

食育

・クッキングや野菜の栽培をしながら、食に対する興味・関心が益々深くなる。

事前に栄養士と打合せをしっかりとし、子どもの成長に合わせた計画を立てている。

・全員が栽培やクッキングを楽しめるに、個々に援助や声掛けをしていく。

初めての7ヶ月間の間で、準備していた、家庭で作り見たい